


CASBEE®-戸建(新築)

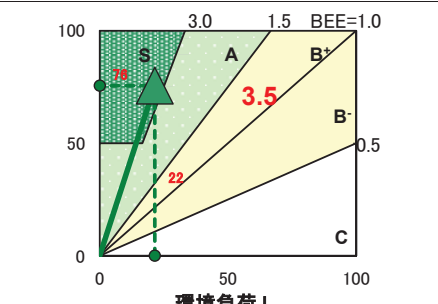
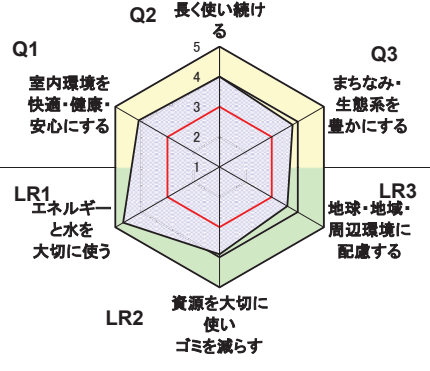
評価結果

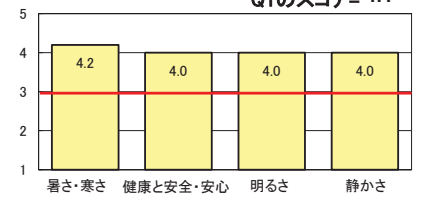
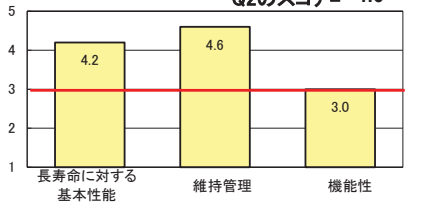
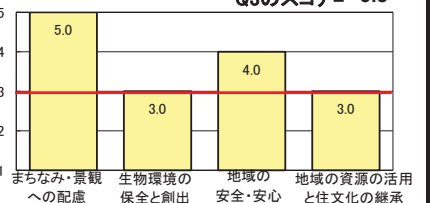
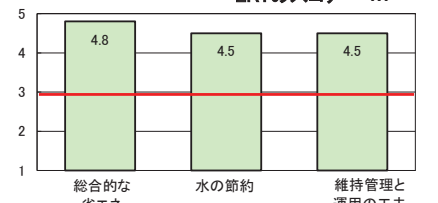
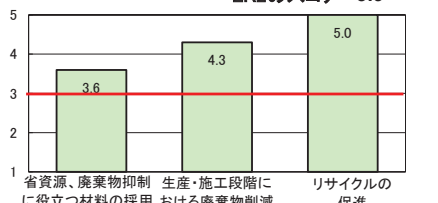
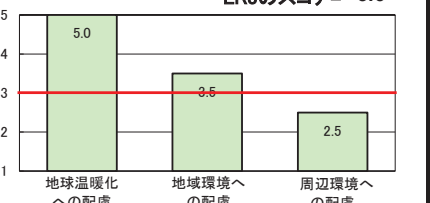
■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築) 2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-DH_NC_2016v1.0

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	町田市相原町A1棟新築工事		仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 確定
竣工年月	2018年1月	竣工			
建設地	東京都町田市相原町205-3				
用途地域	第一種低層住居専用地域	確定			
省エネルギー地域区分	6地域				
構造・構法	木造・在来工法	確定			
階数	2		評価の実施日	2017年12月20日	
敷地面積	141 m ²	確定	作成者	五光ハウジング株式会社 石山辰巳	
建築面積	55 m ²	確定	確認日	2017年12月22日	
延床面積	109 m ²		確認者		
世帯人数	4	仮			

2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)								
<p>BEE = 3.5 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p> 	<p>☆☆☆☆☆ ~0% ☆☆☆☆☆ ~50% ☆☆☆☆☆ ~75% ☆☆☆☆☆ ~100% ☆☆☆☆☆ 100%起: ☆</p> <p>戸建標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>83%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外のオンサイト手法</td> <td>49%</td> </tr> <tr> <td>④上記+オフサイト手法</td> <td>49%</td> </tr> </table> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	83%	③上記+②以外のオンサイト手法	49%	④上記+オフサイト手法	49%	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> 
①参照値	100%									
②建築物の取組み	83%									
③上記+②以外のオンサイト手法	49%									
④上記+オフサイト手法	49%									

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする Q1のスコア= 4.1</p>  <p>暑さ・寒さ 健康と安全・安心 明るさ 静かさ</p> <p>Q2 長く使い続ける Q2のスコア= 4.0</p>  <p>長寿命に対する基本性能 維持管理 機能性</p> <p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする Q3のスコア= 3.8</p>  <p>まちなみ・景観への配慮 生物環境の保全と創出 地域の安全・安心 地域の資源の活用と住文化の継承</p>		
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う LR1のスコア= 4.7</p>  <p>総合的な省エネ 水の節約 維持管理と運用の工夫</p> <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす LR2のスコア= 3.9</p>  <p>省資源・廃棄物抑制に役立つ材料の採用 生産・施工段階における廃棄物削減 リサイクルの促進</p> <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する LR3のスコア= 3.6</p>  <p>地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 周辺環境への配慮</p>		

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <p>居住者が建物を長期間利用できるよう、耐久性や維持管理容易さ、快適な住環境を目指した。また、住宅で使用するエネルギーを太陽光発電とエネファームにて賄い、蓄電池やHEMSにて効率的に利用することにより、住宅が使用する一次エネルギーの消費削減など、環境に与える負荷が小さい建物である。</p>		
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>自然採光、通風等も考慮しており、優れた断熱性、適切な冷暖房設備で快適な室内環境を保てる。</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>耐震等級3、劣化等級3等、長期間の仕様に耐えられる材料や仕様を採用する。維持管理などにメンテナンスの容易さ、維持管理が可能な情報提供を用意している。</p>	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>敷地内の緑化に取り組み、街並みに配慮した生垣を採用した。</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>高い断熱性能で、冷暖房エネルギーを抑えており、水栓等を節水タイプを採用し節水に努めた。また、太陽光発電とエネファームで創エネルギー図っている。</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>構造材のプレカット納材等で、産廃物の削減している。また、リサイクル材、再生可能材の積極的な採用を図っている。</p>	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>浸透枳の採用によるインフラ負荷の低減や、敷地内の緑化を図り環境への負荷を軽減に努めている。</p>